



湯川 智子  
サビエント  
取締役社長

## すべての思いを 叶える答えは二つ



田中 豊  
アートグリーン  
取締役社長

市場規模1兆円という小さなマーケットであるフラワー園芸業界ですが、創業前の私の目には大変魅力的に映りました。

25歳で会社を興すと決めていて、商材を何にするか考え、調査を開始したところ、法人贈答用の花のニーズが年々増加していることを突き止めました。時は1990年、日本の景気が最高潮であったこともあり、何をやっても成功する気がしました。

しかし、現実はそう甘くありませんでした。1991年12月に二人で生花販売会社として有限会社アートグリーンを創業しましたが、翌年にはバブルがはじけてしまい、日本の景気が急激に悪くなってしまったのです。

今も忘れません。起業した翌年8月の売り上げは83,000円。仕入れを引くと手元には20,000円程度しか残りませんでした。この時初めて大変なことが起こっているということに気がきました。

ある方の紹介で地方銀行の支店長を訪ねました。

「君は今いくつ？ まだ25歳か。10年後に会社がつぶれても35歳じゃないか。融資はできないが大いに挑戦しなさい！」

褒められたのか、ばかにされたのか……。

友人(現専務取締役)を誘って二人で起業したのですが、彼は800万円あった年収が120万円となり、前年の所得がベースとなる住民税を支払うことができず、親から借りなければならない状態になってしまいました。私は一人の人間の人生を狂わせてしまったと、強力な責任を感じていました。

そんな時、ある取引先から、合併してその会社の事業部になることで給料は保証してもらえるとという話が舞い込んできました。彼に吉報を伝えると、「おれたち二人で裸一貫で頑張ろうと言ったじゃないか！ ポロクソになるまでやり抜いてみないか！」と、意外な答えが返ってきたのです。私はその時、ハッと目が覚めた気がしました。あの時の彼の言葉がなかったら、今の会社は存在しなかったと思います。昨年の2015年12月、アートグリーンは名古屋証券取引所に株式を公開いたしました。

すべての思いを叶える答えは二つで、本当に大切だと思えます。

一、始めること

二、叶うまでやり続けること

大変幸せなことに、経済同友会の学校と経営者の交流活動推進委員会の委員として、子どもたちに私の生き方などを話す機会をいただいております。

日本はこれからますます人口減少時代へと突入していきます。大切な子どもたちに、大きな夢を持つこと、そして諦めないことの重要性を、伝え続けたいと思っています。

最後に、私の大好きなウォルト・ディズニーの言葉を紹介いたします。

「夢を求め続ける勇気さえあれば、すべての夢を必ず実現できる。いつだって忘れないでほしい。すべて一匹のねずみから始まったということを」